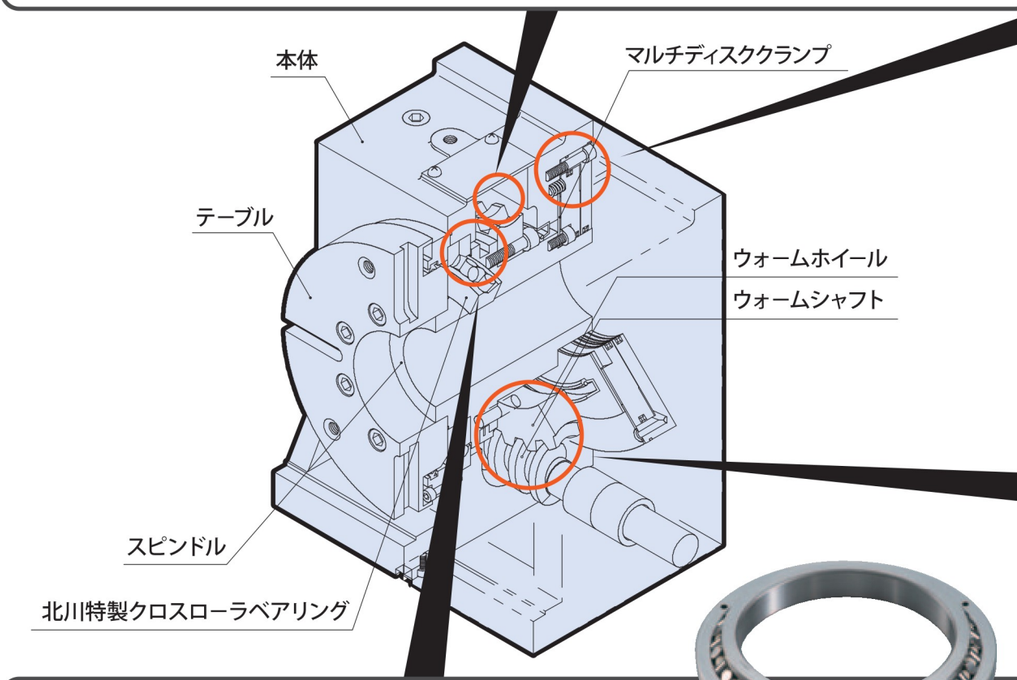
NC ROTARY TABLE

NC円テーブルの特長

高クランプトルクと高精度、高剛性。確かな技術が生み出すKITAGAWAのNC円テーブル。

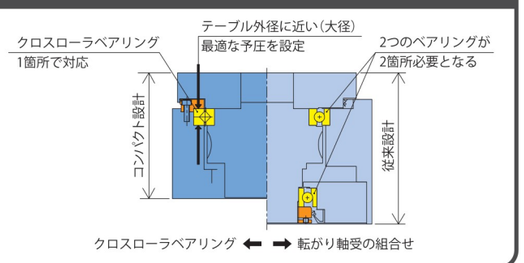
耐摩耗性に優れたウォームホイール材質

素材中に硬い金属間化合物を含む特殊合金を採用することにより、
従来に比べ、耐摩耗性が大幅に向上。



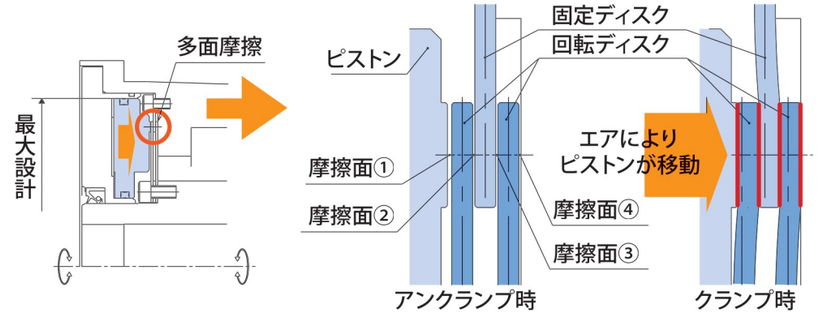
北川特製クロスローラベアリング

主軸を支えるのは、大径クロスローラベアリング。
クロスローラベアリングは、従来のベアリングと比較して構造的に高い剛性を得られる。また、薄型コンパクト設計も可能に。クロスローラベアリングを採用して30年以上となる経験から、最適な予圧を設定することにより、安定した高い精度、剛性を実現。



高クランプトルクを発生させるクランプ機構の採用

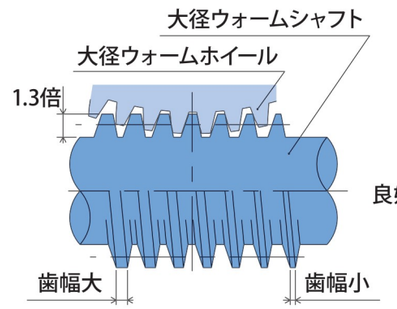
マルチディスクブレーキ方式を採用し、多面で摩擦させることにより、エア供給のみで油圧クランプに相当する高クランプトルクを実現。また、大径ピストンの採用により、効率の良いクランプ機能も実現。

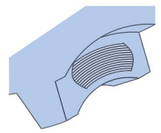


高歯ウォーム、しかも強度と剛性を重視した大径設計

高歯、大径ウォームホイールを採用することにより、歯にかかる面圧を低く抑え、加工負荷の低減、精度維持、耐摩耗に優れた機能を実現。

複リードウォームの採用により理想的な歯当たりと、最適なバックラッシ調整が可能。
スピンドル一体歯切りと相まって、高い割出精度を実現。





良好な歯当たりを実現

高効率とノンバックラッシを実現するローラギヤカム機構の採用

ローラギヤカム機構の採用により、高効率な動力伝達とノンバックラッシによる高精度位置決めを実現します。
転がり接触によりかみ合い部の摩耗を抑え、省メンテナンスで安定した高精度を維持します。
万一の過負荷時にも、噛み込みを生じにくい機構により、機構部のダメージを抑え、ダウンタイムの低減に貢献します。

※RK201およびRKTシリーズに搭載